

県外に住んでいる中学校1年生の孫が、次のような文章を書いて送ってきました。

「ドライバーの皆さんへ。僕は散歩や自転車乗りをするとき、気になることがあります。それはドライバーの歩行者に対する運転マナーです。茨城県のドライバーの人は、横断歩道に歩行者が居るのに止まらず、ひどいとき

はクラクションを鳴らすこともあり、これを聞いた瞬間びっくりしたこともありました。僕は長期休みに母親の実家の長野県に行きますが、そちらのドライバーの人たちは、国道で車が多いときにもかかわらず、横断歩道で待っていると、たった数秒ですぐに止まってくれたので、とてもびっくりしました。また、横断歩道でない所で待っていると、急ブレーキで止まってくれたこともあり

## 安全運転を心掛けて

発しています。私たちの地域でも「松本走り」とい

ました。茨城県では見ることでできない光景でした。両県のドライバーの人たちには運転の仕方に大きな違いがありますが、どうかドライバーの皆さん、僕たち歩行者の立場を考えて車を運転してほしいと思います」

最近、各地で高齢者による交通事故が多

## 点差

こうさてん

うようなマナーの悪さが問題になっています。私も車を運転する身であり、できることなら一分一秒でも早く、減速せず止まらないで走りたいと思うときがありますが、孫の気持ちをお大切にしながら安全運転を心掛けたいと思います。互いの安全と幸せのために、命の重さを肝に銘じたものです。

(安曇野市穂高、荻原義重、75歳)

また、横断歩道でない所で待っていると、急ブレーキで止まってくれたこともあり